

キ ャ ラ リ ー

みんなの芸術館



「木彫り二人展」 市立博物館で

市内の主婦2人が丹精込めて作り上げた作品を紹介する「木彫り二人展」が6月上旬に市立博物館で開かれました。木彫りのレリーフ、家具、小物入れ、組木などいずれの作品もアマチュア離れた出来で、訪れる人たちを驚かせました。

出展したのは渚滑町4の小川トミエさん(82)と、花園町2の中村砂智子さん(55)。2人とも興部町の木彫りサークルに加入していて、小川さんは約30年、中村さんは約20年、腕を磨いてきました。紋別市で個展(二人展)を開くのは初めてです。

作品はシナヤクルミなど彫りやすい板を材料に、彫刻刀や糸鋸で彫り、紙やすりで磨き塗装して仕上げるそうです。「花籠のレリーフ」や「鏡の額」など手の込んだ作品は、完成まで2年をかけたということです。

広報 オホーツク もんべつ 2007.7 第636号

■発行：紋別市長 宮川 良一

■編集：総務部企画調整課公聴広報係

〒094-8707紋別市幸町2丁目1番18号

☎ 0158-24-2111番 内線218番

FAX 0158-24-6925番

■市長へのEメール：shichou@city.mombetsu.lg.jp

■市長へのFAX：0158-24-6411番

■平成19年7月1日発行

■印刷：株式会社 北海民友新聞社



エゾリュウキンカ

清流沿いに咲く、黄色の鮮やかな花で、一般的には「ヤチブキ」の呼び名で知られていますが、見事な咲き方からしてエゾリュウキンカの呼び名の方が似合っています。雪解けとともに山間部の河川、湿地などで咲き誇り、一部は民家の側の川沿いにも咲いたりします。春から初夏にかけてシンボルのような存在で、山間部を訪れた市民の心を癒してくれる花の1つです。

人のうごき 平成19年5月末

■人口………25,965人 ■男…12,299人 ■女…13,666人 ■世帯…12,269世帯
■誕生おめでとう…18人 ■お悔やみ申し上げます…25人

この広報誌は、再生紙を使用しています。